

令和5年度



校訓： 伸びよ 鍛えよ 心とからだ

教育目標

自ら学び、自ら考え、豊かな心でたくましく生きる金津っ子の育成
～ みんなで創る 一人一人が輝く 明るく楽しい学校 ～

〇めざす児童像

- ・努力する子
- ・思いやりのある子
- ・心も体も元気な子

〇めざす学校像

- ・一人一人が個性を活かし生き生きと学びを楽しむ学校
- ・元気なあいさつ、思いやりにあふれる学校
- ・地域に開かれ信頼される学校

重点目標

☆確かな学力	☆豊かな心	☆健やかな体	☆信頼される学校
<p>〇未来をたくましく生きぬく力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考える力(創造する力) ・共感し学び合う力 ・思いを表現する力 ・情報活用能力 ・SDGsの意識化 <p>〇基礎・基本の習得</p> <p>〇読書活動の推進</p> <p>〇学びを楽しむ力(わくわく)</p>	<p>〇元気なあいさつが響き合う学校</p> <p>〇規律と思いやりのある温かい集団作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の人権を大切にす児童の育成 ・多様性の理解と安心できる居場所づくり <p>〇個性をいかし、夢に向かって挑戦するしなやかな心づくり</p>	<p>〇基本的な生活習慣の確立</p> <p>〇金津っ子体力パワーアップ</p> <p>〇食育の推進</p> <p>〇安全・安心の確保。自己管理能力や安全意識を育て、自他の命を大切にす児童の育成</p>	<p>〇家庭や地域との連携と協働</p> <p>〇教育活動の積極的な発信。</p> <p>〇ふるさと学習の推進。地域の教育資源を活用し、地域の方々と共にふるさと学習やキャリア教育を推進する。</p>
<p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントの充実(学びの地図) 教科や体験活動での学びと社会生活や環境とのつながりを重視。自己解決や仲間と考えを深める時間を大切に、探究力を育む。 ・タブレット等ICTの積極的な活用。 ・個に応じた学力を伸ばす。 ・国語を要とし「言葉の力」「表現力」を伸ばす。(読解力・コミュニケーション力・プレゼン力) ・読書時間を増やす。(学校図書館の活用や読み聞かせ、IKOSSAとの連携) ・学習習慣の育成(家庭との連携) 	<p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動を進め周りにつながる力を育む。 ・道徳授業や特別活動の充実。話し合いや体験活動の中で自分や友達のよさや個性に気づき認め合う集団を育てる。 ・家庭や外部機関との密な連携。日々細やかな教育相談や情報共有を行い、いじめや不登校の未然防止・早期発見や、児童保護者に寄り添い向き合う支援を行う。 ・特別支援教育の充実 ・SST「ほのぼのスキルタイム」を通し良好な人間関係を営むためのスキルを養う。 	<p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「金津っ子生活チェック」の活用や「スマートルール」の徹底等、家庭と協力しながら望ましい生活習慣を身に付ける。 ・運動に親しみ、目標をもってマラソンやなわとびに取り組むよう手立てを工夫する。 ・栄養教諭と連携し、食への関心を高める。 ・日々の保健安全指導や防災・防犯訓練などを通して危険予知能力・危険回避力を高める。 	<p>《具体的な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校公開やHP、H&S、各種おたより、連絡帳等を通して家庭と情報を共有し、子ども達の健やかな成長を共に支える。 ・情報モラル等、子ども達を取り巻く課題について研修や情報発信を行い、家庭の協力を求める。(令和5年度「親子道徳」の実施) ・地域での体験学習を充実させ、ふるさと理解を深める。児童が学びを通して実感した魅力を、ICT等を活用し積極的に発信する。 ・学校応援ボランティアを募り、地域の教育資源を積極的に活用する。

《数値目標》

- ・「学校が楽しい」と答える児童90%以上
- ・「授業が分かる」と答える児童が90%以上
- ・「親子読書」に取り組む等、家庭でも子どもが読書に親しむ機会を設けている保護者が70%以上

《数値目標》

- ・自分から進んであいさつをしていると答える児童が90%以上
- ・みんなに対して優しい言動ができたと答える児童が90%以上
- ・子どもに思いやりの心が育ってきていると感じる保護者が80%以上

《数値目標》

- ・業間マラソンやなわとびを頑張る児童が90%以上
- ・安全に気をつけて行動している児童が90%以上
- ・わが子は基本的な生活習慣が身についていると感じる保護者が80%以上

《数値目標》

- ・学校は教育活動の様子をよく発信していると感じている保護者が80%以上
- ・地域の伝統や文化に興味をもち、自分達のふるさとが好きと答える児童が80%以上

◆業務改善のための取組

- ・DXの推進。ICTや校務支援システムを活用し、児童と向き合う時間や研修の時間を確保する。
- ・校務分掌を複数人体制として業務を分担する。
- ・退勤目標時間を設定。教職員のワークライフバランスを整えることで心身の健康を守り、子ども達に日々よりよい教育を実践する環境を作る。